

令和3年度

西海市公営企業会計
決算審査意見書

西海市監査委員



4 西海監第18号
令和4年8月23日

西海市長 杉澤 泰彦 様

西海市監査委員
西海市監査委員

井田 利定
杉山 誠治



令和3年度西海市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された下記公営企業会計決算の審査を行ったので、その意見書を送付します。

記

1. 令和3年度西海市水道事業会計決算
2. 令和3年度西海市工業用水道事業会計決算
3. 令和3年度西海市下水道事業会計決算

目 次

	ページ
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1

水道事業会計

1. 業務実績について	2
2. 予算執行の状況について	3
3. 経営成績について	5
4. 財政状態について	9
5. むすび	11

工業用水道事業会計

1. 業務実績について	12
2. 予算執行の状況について	13
3. 経営成績について	15
4. 財政状態について	19
5. むすび	21

下水道事業会計

1. 業務実績について	22
2. 予算執行の状況について	23
3. 経営成績について	25
4. 財政状態について	29
5. むすび	31

※この決算審査意見書中の構成比率の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

令和3年度西海市公営企業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

令和3年度西海市水道事業会計決算
令和3年度西海市工業用水道事業会計決算
令和3年度西海市下水道事業会計決算

第2 審査の期間

令和4年7月12日～8月3日まで

第3 審査の方法

送付を受けた決算書類について、帳簿、証拠書類を照合し、関係書類の収集、関係職員に対する質問等、通常実施すべき審査手続きにより実施した。

第4 審査の結果

決算書、財務諸表及びその他の書類は、地方公営企業関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合して正確であり、令和3年度における経営成績及び当該年度末の財政状態は適正に表示されていると認めた。

審査の概要及び意見は、次に述べるとおりである。

水道事業会計

1. 業務実績について

給水状況は次表のとおりである。

給水状況

区 分	単 位	3 年 度 ①	2 年 度 ②	増 減 ①-②=③	増 減 率 (%) ③/②
給 水 人 口	人	25,669	26,348	△ 679	△ 2.58
給 水 戸 数	戸	12,224	12,461	△ 237	△ 1.90
配 水 量	m ³	4,042,725	3,973,149	69,576	1.75
有 収 水 量	m ³	2,731,202	2,784,674	△ 53,472	△ 1.92
有 収 率	%	67.56	70.09	△ 2.53	△ 3.61
1 日 平 均 配 水 量	m ³	11,076	10,885	191	1.75

給水人口は前年度と比較して 679 人 (2.58%) 減少し、給水戸数は 237 戸 (1.90%) の減少となっている。

給配水の状況は、配水量が前年度比 69,576 m³ (1.75%) の増加、有収水量が 53,472 m³ (1.92%) の減少となっている。

平均有収率は 67.56% で前年度比 2.53 ポイントの減少となっている。

2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(1) 収益的収入・支出

収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
水道事業収益	950,897,000	958,713,522	7,816,522	100.8
営業収益	725,845,000	720,899,596	△ 4,945,404	99.3
営業外収益	225,049,000	237,690,765	12,641,765	105.6
特別利益	3,000	123,161	120,161	4,105.4

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
水道事業費用	1,017,193,000	978,289,439	0	38,903,561	96.2
営業費用	906,179,000	882,252,075	0	23,926,925	97.4
営業外費用	105,812,000	95,923,067	0	9,888,933	90.7
特別損失	702,000	114,297	0	587,703	16.3
予備費	4,500,000	0	0	4,500,000	0.0

(2) 給水収益及び未収金の状況

(単位：円・%)

区分		3年度				
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現年度分	金額	714,304,091	701,226,319	0	13,077,772	98.2
過年度分	金額	18,628,512	8,869,789	140,050	9,618,673	47.6
合計	金額	732,932,603	710,096,108	140,050	22,696,445	96.9

給水収益の収入未済額は、現年度分 13,077,772 円、過年度分が 9,618,673 円で計 22,696,445 円となっている。

(3) 資本的収入・支出

資本的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的収入	591,857,000	454,857,400	△ 136,999,600	76.9
企業債	437,000,000	300,000,000	△ 137,000,000	68.6
負担金	8,659,000	8,660,400	1,400	100.0
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0.0
他会計補助金	146,197,000	146,197,000	0	100.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	951,539,000	773,338,937	166,743,000	11,457,063	81.3
建設改良費	628,775,000	456,577,342	166,743,000	5,454,658	72.6
企業債償還金	316,763,000	316,761,595	0	1,405	100.0
予備費	6,000,000	0	0	6,000,000	0.0
その他資本的支出	1,000	0	0	1,000	0.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 318,481,537 円は、過年度分損益勘定留保資金 278,928,994 円及び当年度消費税資本的収支調整額 39,552,543 円で補填されている。

建設改良費の主な事業は、次のとおりである。

- ・ 大瀬戸第2配水池更新工事（水道施設） 139,943,100 円
- ・ 大瀬戸地区飲供施設・大島地区監視装置設置工事 61,661,600 円
- ・ 大瀬戸松島簡易水道施設更新工事 27,580,300 円
- ・ 崎戸内鋤田地区送配水管布設替工事 26,598,000 円
- ・ 大島徳万地区配水管布設替工事 25,400,100 円
- ・ 西海太田和地区配水管布設替工事 22,584,100 円

3. 経営成績について

令和3年度の経営状況は、総収益（水道事業収益）893,427,847円、総費用（水道事業費用）936,013,089円で、当年度純損失は、42,585,242円となっている。

(1) 収 益

総収益（水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	3年度		2年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営業 収益	給水収益	633,486,484	70.9	644,154,812	71.0	△ 10,668,328	△ 1.7
	その他の営業収益	6,055,805	0.7	7,471,838	0.8	△ 1,416,033	△ 19.0
	簡易水道収益	16,082,251	1.8	20,775,732	2.3	△ 4,693,481	△ 22.6
	小 計	655,624,540	73.4	672,402,382	74.1	△ 16,777,842	△ 2.5
営業外収益	237,690,765	26.6	233,191,328	25.7	4,499,437	1.9	
特別利益	112,542	0.0	2,190,952	0.2	△ 2,078,410	△ 94.9	
総 収 益	893,427,847	100.0	907,784,662	100.0	△ 14,356,815	△ 1.6	

営業収益は、前年度と比較し16,777,842円（2.5%）の減収となっている。

営業外収益は、前年度と比較して4,499,437（1.9%）の増収となっている。増収の主な要因は、一般会計補助金等の増である。

(2) 費用

総費用（水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	3年度		2年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	107,248,239	11.5	108,738,884	11.6	△ 1,490,645	△ 1.4
	委託料	115,556,517	12.3	106,854,090	11.4	8,702,427	8.1
	修繕費	62,716,345	6.7	46,701,291	5.0	16,015,054	34.3
	動力費	70,199,304	7.5	65,127,411	6.9	5,071,893	7.8
	薬品費	6,217,840	0.7	6,326,814	0.7	△ 108,974	△ 1.7
	材料費	11,164,946	1.2	9,077,768	1.0	2,087,178	23.0
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	310,620	0.0	309,910	0.0	710	0.2
	減価償却費	427,775,870	45.7	442,226,891	47.0	△ 14,451,021	△ 3.3
	資産減耗費	10,016,084	1.1	17,823,945	1.9	△ 7,807,861	△ 43.8
	その他	40,498,149	4.3	43,626,793	4.6	△ 3,128,644	△ 7.2
	小 計	851,703,914	91.0	846,813,797	89.9	4,890,117	0.6
営 業 外 費 用	支払利息	67,480,449	7.2	72,185,261	7.7	△ 4,704,812	△ 6.5
	その他	16,722,698	1.8	22,619,145	2.4	△ 5,896,447	△ 26.1
	小 計	84,203,147	9.0	94,804,406	10.1	△ 10,601,259	△ 11.2
特 別 損 失	106,028	0.0	42,591	0.0	63,437	148.9	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	936,013,089	100.0	941,660,794	100.0	△ 5,647,705	△ 0.6	

営業費用は、前年度と比較し 4,890,117 円（0.6%）の増加となっている。

営業外費用においては企業債利息及び起債償還利子が主な支出であり、前年度と比較して 10,601,259 円（11.2%）の減少となっている。

(3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

損益

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		3年度 ①	2年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②	
経常損益の部	営業損益	収益	655,624,540	672,402,382	△ 16,777,842	△ 2.5
		費用	851,703,914	846,813,797	4,890,117	0.6
		営業利益	△ 196,079,374	△ 174,411,415	△ 21,667,959	△ 12.4
	営業外損益	収益	237,690,765	233,191,328	4,499,437	1.9
		費用	84,203,147	94,804,406	△ 10,601,259	△ 11.2
		営業外利益	153,487,618	138,386,922	15,100,696	10.9
経常利益		△ 42,591,756	△ 36,024,493	△ 6,567,263	△ 18.2	
特別損益の部	利益	112,542	2,190,952	△ 2,078,410	△ 94.9	
	損失	106,028	42,591	63,437	148.9	
	特別利益	6,514	2,148,361	△ 2,141,847	△ 99.7	
当年度純利益		△ 42,585,242	△ 33,876,132	△ 8,709,110	△ 25.7	
前年度繰越利益剰余金		△ 440,123,878	△ 406,247,746	△ 33,876,132	△ 8.3	
その他処分利益剰余金変動額		0	0	0	-	
当年度未処分利益剰余金		△ 482,709,120	△ 440,123,878	△ 42,585,242	△ 9.7	

経常損益のうち営業利益は△196,079,374円で、前年度と比較し21,667,959円(12.4%)の減益となり、営業外利益は153,487,618円で、前年度と比較し15,100,696円(10.9%)の増益となっている。この結果、経常利益は△42,591,756円となっている。

また、当年度純利益は、△42,585,242円で、前年度繰越利益剰余金△440,123,878円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は△482,709,120円となっている。

(4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	3 年 度	2 年 度	備 考
総収支比率	95.45	96.40	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	95.45	96.17	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	76.98	79.40	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は 95.45%（前年度比 0.95 ポイント減）、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は 95.45%（前年度比 0.72 ポイント減）と減少しており、事業の収益性を示す「営業収支比率」は 76.98%（前年度比 2.42 ポイント減）となっている。

4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

財政状態

区 分		3 年度		2 年度		前年度比較	
		金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②
固定資産	有形固定資産	7,664,276,036	84.3	7,683,805,292	84.7	△ 19,529,256	△ 0.3
	無形固定資産	14,552,169	0.2	14,954,806	0.2	△ 402,637	△ 2.7
	計	7,678,828,205	84.4	7,698,760,098	84.8	△ 19,931,893	△ 0.3
流動資産		1,417,274,538	15.6	1,375,534,288	15.2	41,740,250	3.0
資産合計		9,096,102,743	100.0	9,074,294,386	100.0	21,808,357	0.2
負債	固定負債	4,673,377,794	51.4	4,706,638,444	51.9	△ 33,260,650	△ 0.7
	流動負債	477,908,057	5.3	491,597,634	5.4	△ 13,689,577	△ 2.8
	繰延収益	1,630,155,056	17.9	1,174,882,731	12.9	455,272,325	38.8
負債合計		6,781,440,907	74.6	6,373,118,809	70.2	408,322,098	6.4
資本金		2,566,837,254	28.2	2,911,601,015	32.1	△ 344,763,761	△ 11.8
剰余金	資本剰余金	106,897,392	1.2	106,062,130	1.2	835,262	0.8
	利益剰余金	△ 359,072,810	△ 4.0	△ 316,487,568	△ 3.5	△ 42,585,242	△ 13.5
	計	△ 252,175,418	△ 2.8	△ 210,425,438	△ 2.3	△ 41,749,980	△ 19.8
資本合計		2,314,661,836	25.5	2,701,175,577	29.8	△ 386,513,741	△ 14.3
負債・資本合計		9,096,102,743	100.0	9,074,294,386	100.0	21,808,357	0.2

(1) 資産

「固定資産」は前年度に比べ 19,931,893 円 (0.3%) 減少している。これは主に、有形固定資産の減によるものである。

「流動資産」は前年度に比べ 41,740,250 円 (3.0%) 増加している。これは主に、現金預金の増によるものである。

(2) 負債及び資本

負債

「固定負債」が前年度に比べ 33,260,650 円 (0.7%) 減少している。これは主に、企業債の償還の増加によるものである。また、「流動負債」は前年度に比べ 13,689,577 円 (2.8%) 減少している。これは主に、企業債の償還等の増加によるものである。「繰延収益」は前年度に比べ 455,272,325 円 (38.8%) 増加している。これらにより、負債合計が前年度に比べ 408,322,098 円 (6.4%) 増加している。

資本

「資本金」は前年度に比べ 344,763,761 円 (11.8%) 減少している。

当年度純損失 41,749,980 円の計上により、剰余金合計が△252,175,418 円、資本合計が 2,314,661,836 円となっている。

5. むすび

以上が、令和3年度西海市水道事業について審査した概要である。

本市の水道事業は、令和2年度より離島を含めた全ての簡易水道事業との統合が完了した。

経営成績については、営業利益が△196,079,374円、当年度純利益が△42,585,242円となった。

営業収益に対する固定資産減価償却費の割合が65.2%となっており、利益が出にくい財務体質となっている。

キャッシュフローは投資活動、財務活動を含めたところでプラスになっており、企業経営上は資金的にも問題ないと言えるが、施設の統廃合や、不要施設の除却等を進め、固定資産の圧縮を図ることが重要である。

また、経営改善には有収率の向上が不可欠であり、令和2年度の本市水道事業の有収率は70.09%で、令和3年度における有収率は2.53ポイント減少し67.56%となっている。

統合整備事業と並行して、老朽管の更新や漏水防止対策などの施設の適正な維持管理を図ることにより有収率を高め、将来の経営を見通した健全な事業運営に努められたい。

今後さらに、老朽化対策や施設改修などのインフラ整備が見込まれる中、難しい事業運営が課されていると言える。

事業統合によるプラスの効果を最大限に高めつつ、長期的な視点に立って、資産の効率的な運用、財源確保に努め、市民生活に欠かすことの出来ない水の更なる安定供給を図られたい。

工業用水道事業会計

1. 業務実績について

給水状況は次表のとおりである。

区 分	単位	3年度 ①	2年度 ②	増減 ①-②=③	増減率(%) ③/②
給水企業	社	1	1	0	0.00
配水量	m ³	1,263,096	1,285,380	△ 22,284	△ 1.73
有収水量	m ³	1,249,075	1,280,120	△ 31,045	△ 2.43
有収率	%	98.89	99.59	△ 0.70	△ 0.70
1日平均配水量	m ³	3,461	3,522	△ 61	△ 1.73

給水企業は、電源開発株式会社松島火力発電所1社である。

給配水の状況は、配水量で前年度比 22,284 m³ (1.73%) の減少、有収水量で 31,045 m³ (2.43%) の減少となっている。また、1日平均配水量は前年度比 61 m³ (1.73%) の減少となっている。

なお、有収水量は年間 1,249,075 m³ で 98.89% の有収率となっている。

2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(1) 収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
工業用水道事業収益	101,453,000	101,450,413	△ 2,587	100.0
営業収益	84,316,000	84,315,000	△ 1,000	100.0
営業外収益	17,137,000	17,135,413	△ 1,587	100.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	不用額 ①-②	執行率 ②/①
工業用水道事業費用	129,221,000	106,412,104	22,808,896	82.4
営業費用	120,807,000	99,931,257	20,875,743	82.7
営業外費用	6,413,000	6,480,847	△ 67,847	101.1
特別損失	1,000	0	1,000	0.0
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0

(2) 未収金の状況

当年度末未収金は0円となっている。

(3) 資本的收入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的收入	3,000	0	△ 3,000	0.0
企業債	1,000	0	△ 1,000	0.0
負担金	1,000	0	△ 1,000	0.0
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	33,282,000	11,101,399	20,178,000	2,002,601	33.4
建設改良費	21,496,000	1,315,600	20,178,000	2,400	6.1
企業債償還金	9,786,000	9,785,799	0	201	100.0
予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0

資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額 11,101,399 円は、過年度分損益勘定留保資金 10,981,799 円及び当年度消費税資本的収支調整額 119,600 円で補填されている。

3. 経営成績について

令和3年度の経営状況は、総収益（工業用水道事業収益）93,786,142円、総費用（工業用水道事業費用）98,867,433円で当年度純利益△5,081,291円となっている。

(1) 収 益

総収益（工業用水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		3年度		2年度		前年度比較	
		金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②
営業 収益	給水収益	76,650,000	81.7	76,650,000	81.7	0	0.0
	その他の営業収益	0	0.0	0	0.0	0	-
	小 計	76,650,000	81.7	76,650,000	81.7	0	0.0
営業外収益		17,136,142	18.3	17,147,119	18.3	△ 10,977	△ 0.1
特 別 利 益		0	0.0	0	0.0	0	-
総 収 益		93,786,142	100.0	93,797,119	100.0	△ 10,977	△ 0.0

営業収益においては、給水収益は5,000 m³/日の契約水量による水道使用料の収入で前年度と比較して同額となっている。

(2) 費用

総費用（工業用水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	3年度		2年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	9,113,326	9.2	9,204,746	7.9	△ 91,420	△ 1.0
	委託料	26,125,400	26.4	41,622,180	35.8	△ 15,496,780	△ 37.2
	修繕費	853,550	0.9	3,917,190	3.4	△ 3,063,640	△ 78.2
	動力費	16,294,735	16.5	14,364,401	12.4	1,930,334	13.4
	薬品費	1,745,849	1.8	1,930,726	1.7	△ 184,877	△ 9.6
	材料費	167,080	0.2	263,016	0.2	△ 95,936	△ 36.5
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	71,300	0.1	71,300	0.1	0	0.0
	減価償却費	40,152,943	40.6	40,097,858	34.5	55,085	0.1
	資産減耗費	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	821,903	0.8	1,032,941	0.9	△ 211,038	△ 20.4
小 計	95,346,086	96.4	112,504,358	96.8	△ 17,158,272	△ 15.3	
営 業 外 費 用	支払利息	3,521,347	3.6	3,710,695	3.2	△ 189,348	△ 5.1
	その他	0	0.0	0	0.0	0	-
	小 計	3,521,347	3.6	3,710,695	3.2	△ 189,348	△ 5.1
特 別 損 益	0	0.0	0	0.0	0	-	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	98,867,433	100.0	116,215,053	100.0	△ 17,347,620	△ 14.9	

営業費用においては、前年度と比較し 17,158,872 円（15.3%）の増加となっている。要因は、委託料や修繕費の増加である。

営業外費用においては、前年度と比較し 189,348 円（5.1%）の減少となっている。

(3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		3年度 ①	2年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②	
経常損益の部	営業損益	収益	76,650,000	76,650,000	0	0.0
		費用	95,346,086	112,504,358	△ 17,158,272	△ 15.3
		営業利益	△ 18,696,086	△ 35,854,358	17,158,272	47.9
	営業外損益	収益	17,136,142	17,147,119	△ 10,977	△ 0.1
		費用	3,521,347	3,710,695	△ 189,348	△ 5.1
		営業外利益	13,614,795	13,436,424	178,371	1.3
経常利益		△ 5,081,291	△ 22,417,934	17,336,643	77.3	
特別損益の部	利益	0	0	0	-	
	損失	0	0	0	-	
	特別利益	0	0	0	-	
当年度純利益		△ 5,081,291	△ 22,417,934	17,336,643	77.3	
前年度繰越利益剰余金		△ 34,564,362	△ 12,146,428	△ 22,417,934	△ 184.6	
当年度未処分利益剰余金		△ 39,645,653	△ 34,564,362	△ 5,081,291	△ 14.7	

経常損益のうち営業利益は△18,696,086円で、前年度と比較し17,158,272円(47.9%)の増益となり、営業外利益は13,614,795円で、前年度と比較し178,371円(1.3%)の増益となっている。この結果、経常利益は△5,081,291円となっている。

また、当年度純利益は、△5,081,291円で、前年度繰越利益剰余金△34,564,362円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は△39,645,653円となっている。

(4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	3 年度	2 年度	備 考
総収支比率	94.86	80.71	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	94.86	80.71	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	80.39	68.13	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は、94.86%（前年度比 14.15 ポイント増）、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は 94.86%（前年度比 14.15 ポイント増）、「営業収支比率」は 80.39%（12.26 ポイント増）で、いずれも前年度の数値を上回っている。

4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

財政状態

(単位：円・%)

区 分	3年度		2年度		前年度比較		
	金額 ①	構成 比率	金額 ②	構成 比率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
固定資産	有形固定資産	747,444,052	71.9	786,400,995	73.1	△ 38,956,943	△ 5.0
	無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	747,444,052	71.9	786,400,995	73.1	△ 38,956,943	△ 5.0
流動資産		292,385,192	28.1	288,703,657	26.9	3,681,535	1.3
資産合計		1,039,829,244	100.0	1,075,104,652	100.0	△ 35,275,408	△ 3.3
負債	固定負債	161,226,494	15.5	171,205,383	15.9	△ 9,978,889	△ 5.8
	流動負債	22,314,721	2.1	25,673,588	2.4	△ 3,358,867	△ 13.1
	繰延収益	407,969,297	39.2	424,825,658	39.5	△ 16,856,361	△ 4.0
	負債合計	591,510,512	56.9	621,704,629	57.8	△ 30,194,117	△ 4.9
資本金		386,724,380	37.2	386,724,380	36.0	0	0.0
剰余金	資本剰余金	39,726,385	3.8	39,726,385	3.7	0	0.0
	利益剰余金	21,867,967	2.1	26,949,258	2.5	△ 5,081,291	△ 18.9
	計	61,594,352	5.9	66,675,643	6.2	△ 5,081,291	△ 7.6
資本合計		448,318,732	43.1	453,400,023	42.2	△ 5,081,291	△ 1.1
負債・資本合計		1,039,829,244	100.0	1,075,104,652	100.0	△ 35,275,408	△ 3.3

(1) 資産

「固定資産」は、前年度と比較し 38,956,943 円 (5.0%) 減少している。これは、有形固定資産の減価償却によるものである。

「流動資産」は、前年度と比較し 3,681,535 円 (1.3%) 増加している。これは、主に現金預金が増加したことによるものである。

(2) 負債及び資本

「固定負債」が、前年度に比べ 9,978,889 円（5.8%）減少している。これは、企業債の償還によるものである。

「資本金」は、前年度と同額の 386,724,380 円である。

「剰余金」は、前年度に比べ 5,081,291 円（7.6%）減少している。

5. むすび

以上が、令和3年度西海市工業用水道事業について審査した概要である。

水道使用料については、契約水量（日量 5,000 m³）のため安定した給水収益となっている。

有収率は前年度より 0.70 ポイント減少して 98.89%となっており、今後もさらなる適正な施設管理を期待する。

営業収益は 76,650,000 円で、前年度と同額となっている。

営業外収益を含めた総収益は 93,786,142 円で、前年度と比較して 10,779 円（0.0%）の減少となっている。

営業費用は 95,346,086 円で、前年度と比較して 17,158,278 円（15.3%）の減少となっている。

経営分析においては、総収支比率が 94.86%、経常収支比率が 94.86%、営業収支比率が 80.39%といずれも前年度の数値を上回った。

また、当年度純利益△5,081,291 円となっている。

当面は経営上の大きな問題はないと言えるが、委託料や修繕費等の経常的な費用の増加が損益悪化の原因となっているため、今後の更なるコスト削減の取り組みが必要となる。

今後も引き続き計画的な施設の維持管理と運営に努められたい。

下水道事業会計

1. 業務実績について

処理状況は次表のとおりである。

処理状況

区 分	単位	3年度 ①	2年度 ②	増減 ①-②=③	増減率(%) ③/②
処理区域内人口	人	26,146	26,825	△ 679	△ 2.53
水洗化人口	人	19,954	20,253	△ 299	△ 1.48
水洗化率	%	76.32	75.50	0.82	1.08
汚水処理水量	m ³	1,251,611	1,115,612	135,999	12.19
有収水量	m ³	1,251,611	1,112,640	138,971	12.49
有収率	%	100.00	99.73	0.27	0.27
1日平均処理量	m ³	3,429	3,056	373	12.19

水洗化人口は 19,954 人で水洗化率は 76.32%となっている。

有収水量は 1,251,611 m³で有収率は 100%となっている。

1日平均処理量は 3,429 m³となっている。

2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(1) 収益的収入・支出

収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
下水道事業収益	1,242,314,000	1,279,970,944	37,656,944	103.0
営業収益	215,089,000	220,108,946	5,019,946	102.3
営業外収益	1,027,225,000	1,051,891,534	24,666,534	102.4
特別利益	0	7,970,464	7,970,464	0.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
下水道事業費用	1,296,826,000	1,221,375,999	11,600,000	63,850,001	94.2
営業費用	1,177,689,000	1,122,919,020	11,600,000	43,169,980	95.3
営業外費用	100,416,000	84,736,721	0	15,679,279	84.4
特別損失	13,721,000	13,720,258	0	742	100.0
予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.0

(2) 下水道使用料及び未収金の状況

(単位：円・%)

区分		3年度				
		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現年度分	金 額	219,883,546	216,632,230	0	3,251,316	98.5
過年度分	金 額	2,737,980	2,288,271	28,870	420,839	83.6
合 計	金 額	222,621,526	218,920,501	28,870	3,672,155	98.3

下水道使用料の収入未済額は、現年度分 3,251,316 円、過年度分が 420,839 円で計 3,672,155 円となっている。

(3) 資本的收入・支出

資本的收入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的收入	891,316,000	667,534,000	△ 223,782,000	74.9
企業債	351,700,000	138,800,000	△ 212,900,000	39.5
他会計出資金	216,635,000	216,635,000	0	100.0
補助金	316,781,000	303,999,000	△ 12,782,000	96.0
分担金	6,200,000	8,100,000	1,900,000	130.6

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	1,164,092,000	890,839,222	242,566,000	30,686,778	76.5
建設改良費	682,048,000	408,797,833	242,566,000	30,684,167	59.9
企業債償還金	482,044,000	482,041,389	0	2,611	100.0

資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額 240,689,222 円（収支差引額 223,305,222 円に翌年度財源充当額 17,384,000 円を加えた金額）は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,715,845 円、繰越工事資金 12,367,000 円、過年度分損益勘定留保資金等 59,570,773 円、当年度分損益勘定留保資金 167,035,604 円で補填されている。

建設改良費の主な事業は、次のとおりである。

- ・ 真砂地域下水処理施設建設工事（土木） 150,000,000 円
- ・ 令和3年度大串処理区管渠施設 73 工区工事 45,226,500 円
- ・ 令和2年度瀬戸処理区管渠施設 49 工区工事 37,414,300 円
- ・ 令和2年度大串処理区管渠施設 71 工区工事 29,669,200 円
- ・ 令和3年度大串処理区管渠施設 74 工区工事 22,073,700 円

3. 経営成績について

令和3年度の経営状況は、総収益（下水道事業収益）1,252,999,065 円、総費用（下水道事業費用）1,203,091,114 円で、当年度純利益は、49,907,951 円となっている。

(1) 収 益

総収益（下水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	3 年度		2 年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営業 収益	下水道使用料	199,894,135	16.0	202,069,327	14.5	△ 2,175,192	△ 1.1
	その他の営業収益	225,400	0.0	248,400	0.0	△ 23,000	△ 9.3
	小 計	200,119,535	16.0	202,317,727	14.5	△ 2,198,192	△ 1.1
営業外収益	1,044,909,066	83.4	1,190,865,256	85.5	△ 145,956,190	△ 12.3	
特別利益	7,970,464	0.6	0	0.0	7,970,464	0.0	
総 収 益	1,252,999,065	100.0	1,393,182,983	100.0	△ 140,183,918	△ 10.1	

営業収益は 200,119,535 円となっている。

営業外収益は 1,044,909,066 円となっている。

(2) 費用

総費用（下水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	3年度		2年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	71,965,692	6.0	71,263,363	5.7	702,329	1.0
	委託料	169,799,886	14.1	161,619,601	12.8	8,180,285	5.1
	修繕費	25,956,095	2.2	24,710,449	2.0	1,245,646	5.0
	動力費	57,054,910	4.7	53,310,258	4.2	3,744,652	7.0
	薬品費	2,143,060	0.2	2,014,040	0.2	129,020	6.4
	材料費	0	0.0	0	0.0	0	-
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	26,215,929	2.2	22,692,606	1.8	3,523,323	15.5
	減価償却費	727,306,112	60.5	715,930,614	56.7	11,375,498	1.6
	資産減耗費	0	0.0	17,185,183	1.4	△ 17,185,183	△ 100.0
	その他	15,759,811	1.3	14,662,825	1.2	1,096,986	7.5
	小 計	1,096,201,495	91.1	1,083,388,939	85.9	12,812,556	1.2
営 業 外 費 用	支払利息	77,100,235	6.4	85,183,829	6.8	△ 8,083,594	△ 9.5
	その他	16,069,126	1.3	44,236,434	3.5	△ 28,167,308	△ 63.7
	小 計	93,169,361	7.7	129,420,263	10.3	△ 36,250,902	△ 28.0
特 別 損 失	13,720,258	1.1	48,890,938	3.9	△ 35,170,680	△ 71.9	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	1,203,091,114	100.0	1,261,700,140	100.0	△ 58,609,026	△ 4.7	

営業費用は 1,096,201,495 円となっている。

営業外費用は 93,169,361 円となっている。

(3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

損益

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		3年度 ①	2年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②	
経常損益の部	営業損益	収益	200,119,535	202,317,727	△ 2,198,192	△ 1.1
		費用	1,096,201,495	1,083,388,939	12,812,556	1.2
		営業利益	△ 896,081,960	△ 881,071,212	△ 15,010,748	△ 1.7
	営業外損益	収益	1,044,909,066	1,190,865,256	△ 145,956,190	△ 12.3
		費用	93,169,361	129,420,263	△ 36,250,902	△ 28.0
		営業外利益	951,739,705	1,061,444,993	△ 109,705,288	△ 10.3
経常利益		55,657,745	180,373,781	△ 124,716,036	△ 69.1	
特別損益の部	利益	7,970,464	△ 48,890,938	56,861,402	116.3	
	損失	13,720,258	0	13,720,258	0.0	
	特別利益	△ 5,749,794	△ 48,890,938	43,141,144	88.2	
当年度純利益		49,907,951	131,482,843	△ 81,574,892	△ 62.0	
前年度繰越利益剰余金		△ 170,583,382	△ 302,066,225	131,482,843	43.5	
その他処分利益剰余金変動額		0	0	0	-	
当年度未処分利益剰余金		△ 120,675,431	△ 170,583,382	49,907,951	29.3	

経常損益のうち営業利益は△896,081,960円で、営業外利益は951,739,705円となっており、経常利益は55,657,745円となっている。

当年度純利益は49,907,951円で、前年度繰越利益剰余金△170,583,382円と合わせた当年度未処分利益剰余金は△120,675,431円となっている。

(4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	3 年度	2 年度	備 考
総収支比率	104.15	110.42	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	104.68	114.87	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	18.26	18.67	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は 104.15%、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は 104.68%、事業の収益性を示す「営業収支比率」は 18.26%となっている。

4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

財政状態

(単位：円・%)

区 分	3年度		2年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
固定資産	有形固定資産	15,282,060,938	96.5	15,637,124,736	97.2	△ 355,063,798	△ 2.3
	無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	15,282,060,938	96.5	15,637,124,736	97.2	△ 355,063,798	△ 2.3
流動資産		560,827,673	3.5	448,685,172	2.8	112,142,501	25.0
資産合計		15,842,888,611	100.0	16,085,809,908	100.0	△ 242,921,297	△ 1.5
負債	固定負債	4,296,156,123	27.1	4,654,898,341	28.9	△ 358,742,218	△ 7.7
	流動負債	697,431,746	4.4	691,327,584	4.3	6,104,162	0.9
	繰延収益	8,668,838,741	54.7	8,825,664,933	54.9	△ 156,826,192	△ 1.8
負債合計		13,662,426,610	86.2	14,171,890,858	88.1	△ 509,464,248	△ 3.6
資本金		2,183,797,666	13.8	1,967,162,666	12.2	216,635,000	11.0
剰余金	資本剰余金	117,339,766	0.7	117,339,766	0.7	0	0.0
	利益剰余金	△ 120,675,431	△ 0.8	△ 170,583,382	△ 1.1	49,907,951	29.3
	計	△ 3,335,665	△ 0.0	△ 53,243,616	△ 0.3	49,907,951	93.7
資本合計		2,180,462,001	13.8	1,913,919,050	11.9	266,542,951	13.9
負債・資本合計		15,842,888,611	100.0	16,085,809,908	100.0	△ 242,921,297	△ 1.5

(1) 資産

「固定資産」は 15,282,060,938 円、「流動資産」は 560,827,673 円で「資産合計」は 15,842,888,611 円となっている。

(2) 負債及び資本

負債

「固定負債」は 4,296,156,123 円、「流動負債」は 697,431,746 円、「繰延収益」は 8,668,838,741 円で「負債合計」は 13,662,426,610 円となっている。

資本

「資本金」は 2,183,797,666 円、「剰余金」は△3,335,665 円で「資本合計」が 2,180,462,001 円となっている。

5. むすび

以上が、令和3年度西海市下水道事業について審査した概要である。

本市の下水道事業は、令和2年4月1日より地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行している。

経営成績についてみると、営業収益が200,119,535円、営業外収益が1,044,909,066円、営業費用が1,096,201,495円、営業外費用が93,169,361円、特別損失が13,720,258円、当年度純利益が49,907,951円となっている。

キャッシュフローは投資活動、財務活動を含めたところでプラスになっており、企業経営上は資金的にも問題ないと言えるが、施設の統廃合や、不要施設の除却等を進め、固定資産の圧縮を図ることが重要である。

また、老朽管の更新や施設改修などのインフラ整備などの適正な施設維持管理を図り、将来を見通した健全な事業運営が求められている。

今後も市民生活に欠かすことの出来ない安定した下水処理に努められたい。